

各 位

会社名 株式会社フィル・カンパニー
代表者名 代表取締役社長 外山 晋吾
(コード番号：3267 東証スタンダード)
問合せ先 経営管理・経営企画管掌執行役員 豊田 憲一
(TEL：03-6264-1100)

2026 年 11 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、足元の業績動向および事業環境の変化を踏まえ、2026 年 1 月 14 日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 11 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日)

(1) 業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2026 年 1 月 14 日発表)	10,000	800	750	600	111.74
今回修正予想 (B)	8,800	380	355	270	50.26
増減額 (B-A)	△1,200	△420	△395	△330	—
増減率 (%)	△12.0%	△52.5%	△52.7%	△55.0%	—
(参考) 前期実績 (2025 年 11 月期)	8,233	588	569	398	74.13

(2) 修正の理由

今後の通期業績見通しにおきましては、中東情勢をはじめとする事業環境の変化を慎重に考慮し、業績予想を修正いたしました。

売上高につきましては、請負受注の当初計画の下振れ、および開発案件における竣工遅延等に伴う売却スケジュールの変更（次期への期ずれ）により、前回発表予想を 1,200 百万円下回る 8,800 百万円（前回発表予想比 12.0% 減）となる見込みです。

請負受注におきましては、金利や建築費の高騰に伴う投資利回りの低下から、土地オーナーの投資姿勢が慎重化するなど、事業環境が急激に変化いたしました。第 2 四半期の受注高は回復基調にあるものの、第一四半期における進捗の遅れを挽回するに至りませんでした。

開発販売では、案件別の収益性最大化を見据え、売却手法およびタイミングを精査したことに加え、建築資材の調達遅延等から一部案件において物件の竣工に遅れが生じました。これらに伴い、売却スケジュールを変更しことから、当連結会計年度における売上計上額が減少する見通しとなりました。

利益面は、上記減収影響に加え、資材価格や外注費の高騰に伴う建築施工原価の上昇を織り込んだことなどから、営業利益は 380 百万円（同 52.5%減）、経常利益は 355 百万円（同 52.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は 270 百万円（同 55.0%減）と、いずれも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

今後の見通しにおいて、中東情勢をはじめとする事業環境の変化を慎重に考慮し、業績予想を修正しております。

(注) 上記の予想は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績及び期末配当額は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上